

》 1. 決算収支

一般会計・特別会計

区分	歳入	歳出	収支
一般会計	286億2,603万円	282億9,533万円	3億3,070万円
国民健康保険事業特別会計	56億5,766万円	54億9,899万円	1億5,867万円
後期高齢者医療特別会計	10億330万円	9億7,738万円	2,592万円
介護保険事業特別会計 (介護保険事業勘定)	43億6,348万円	43億4,098万円	2,250万円
介護保険事業特別会計 (介護サービス事業勘定)	875万円	875万円	0万円
住宅新築資金等貸付事業 特別会計	1,086万円	1万円	1,085万円
工業団地整備事業特別会計	4,646万円	3,816万円	830万円

公営企業会計

区分		収入	支出	収支
下水道事業会計	収益的	17億964万円	16億5,990万円	4,974万円
	資本的	9億5,952万円	13億8,030万円	▲4億2,078万円

》 2. 一般会計

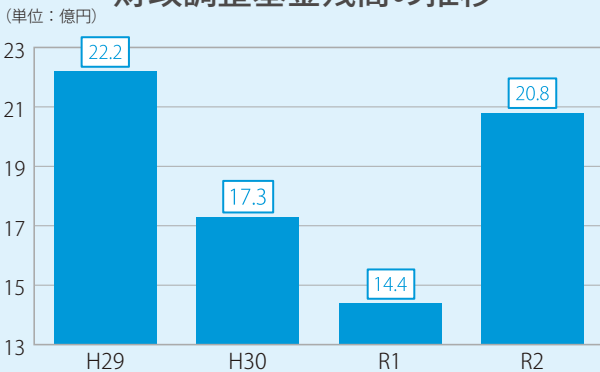
財政調整基金 7年ぶりに取り崩しなし 約6億4,000万円を積立て、残高は20億円超へ

令和2年度一般会計決算は、歳入歳出総額差し引きで3億3,070万円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は2億3,940万円の黒字となりました。

歳入は市税が減ったものの、土地開発公社からの寄附金の増加などで一般財源が増加し、歳出は緊急財政対策計画の取組や新型コロナの影響などにより経常経費が減りました。

平成26年度から6年連続で取り崩しを行ってきた財政調整基金は、6億4,262万円積立てを行うことができ、残高は20億8,361万円となりました。

財政調整基金残高の推移



財政調整基金って？

年度間で生じる財源の不均衡を調整するための基金で、災害などの不測の事態に備え、財源に余裕がある年度に積立てておくものです。



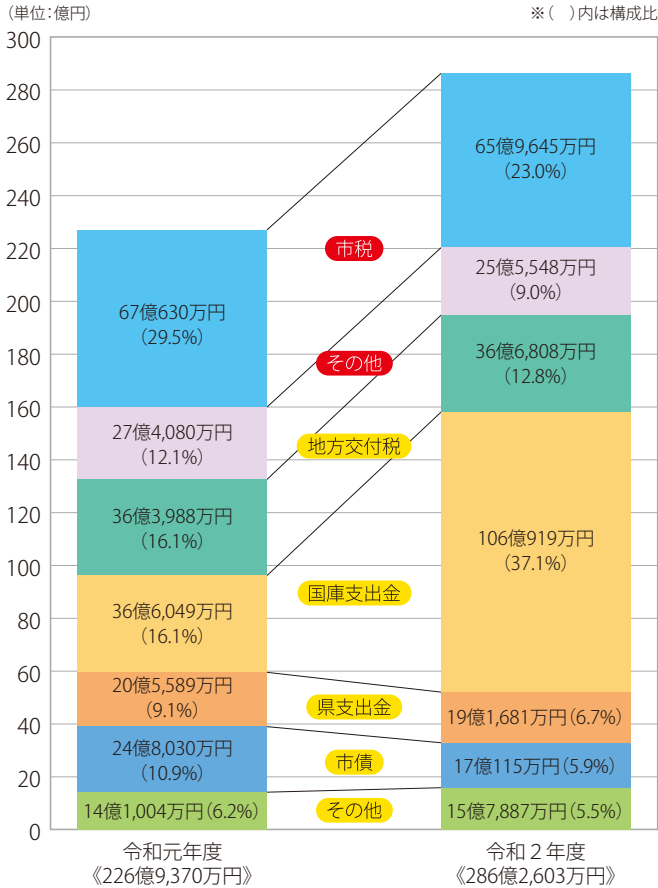
令和2年度一般会計・特別会計・公営企業会計の決算のあらましをお知らせします。
詳しい資料は、市ホームページや各校区コミュニティセンター、図書館で閲覧できます。



市ホームページ
「決算について」

歳入総額286億2,603万円(前年度比 59億3,233万円増)

国庫支出金で大幅増



増加要因

- **国庫支出金 69億4,870万円増**
特別定額給付金事業費補助金や地方創生臨時交付金などにより増加
- **寄附金 2億5,545万円増**
ふるさと寄附金や小郡市土地開発公社などからの寄附金により増加
- **地方消費税交付金 2億2,718万円増**
令和元年10月以降、地方消費税の税率が上がったことなどにより増加

減少要因

- **市債 7億7,915万円減**
普通建設事業費の減少に伴い、借入金である市債が減少

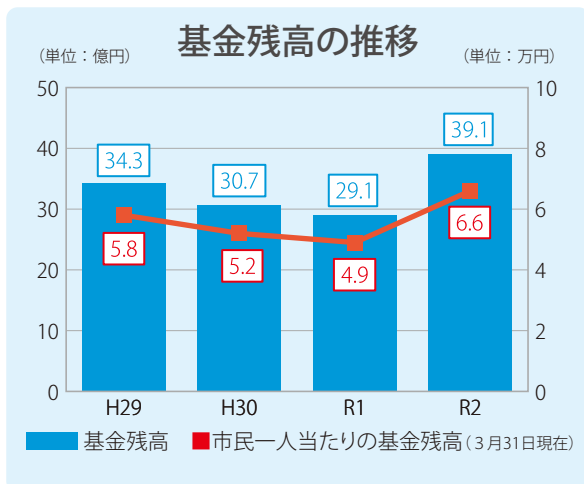
左図の赤色枠 自主財源

左図の黄色枠 依存財源

市の貯金は約10億円増

残高39億1,063万円 前年度比+34.5%
(市民一人当たり 65,623円)

基金は、家計でいう貯金です。基金全体の積み立て額は、昨年度から10億円増加しました。主な理由としては、ふるさと納税の寄附額の増加などによって、まちづくり支援基金が2億4,265万円増加したことや財政調整基金が6億4,262万円増加したことが挙げられます。

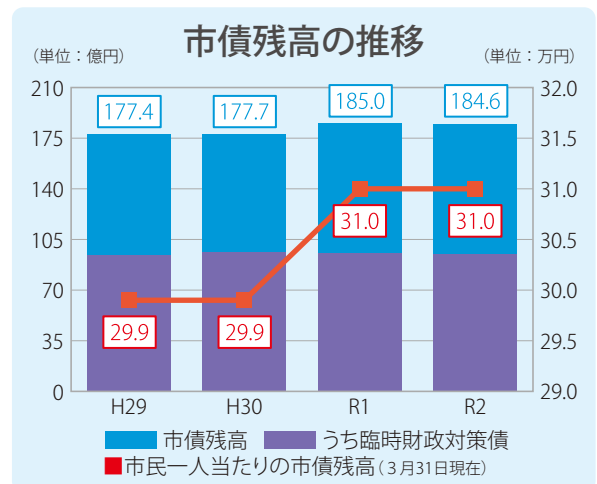


市の借金は約4,000万円減

残高184億6,130万円 前年度比▲0.2%
(市民一人当たり 309,795円)

市債は、家計でいう借金です。道路や学校などを整備するときに借入れ、世代間の負担の公平化・平準化を図っています。

市債残高のうち、臨時財政対策債(国が自治体へ分配する地方交付税の不足を補うための特例の地方債)の割合が約半分を占めますが、返済費用は後年度の地方交付税に全額上乗せされます。



歳出総額282億9,533万円(前年度比 58億5,737万円増)

コロナ対策費で大幅増

性質別経費

特別定額給付金事業や地域商品券発行事業などで、補助費等が61億2,868万円増。市営井上第2住宅建設完了などで、普通建設事業費が17億1,870万円減。

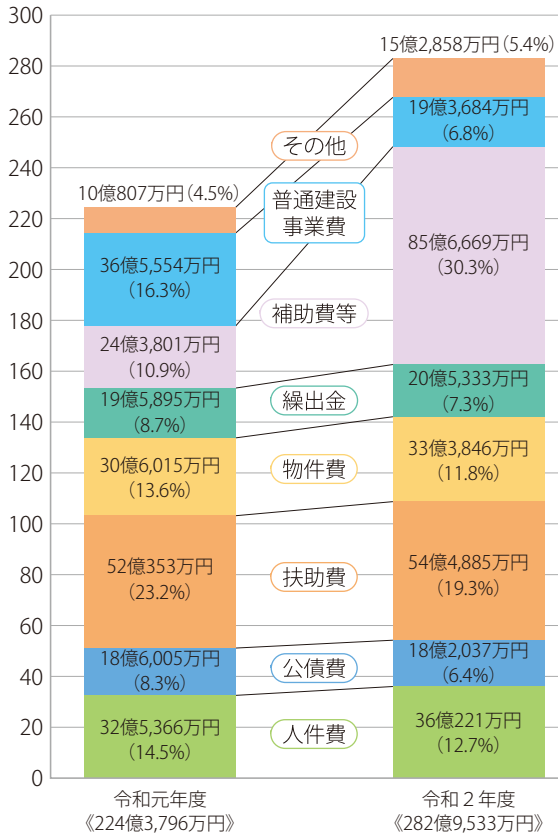
目的別経費

特別定額給付金事業で、総務費63億6,937万円増。GIGAスクール構想事業などで、教育費が3億160万円増。

性質別経費

※()内は構成比

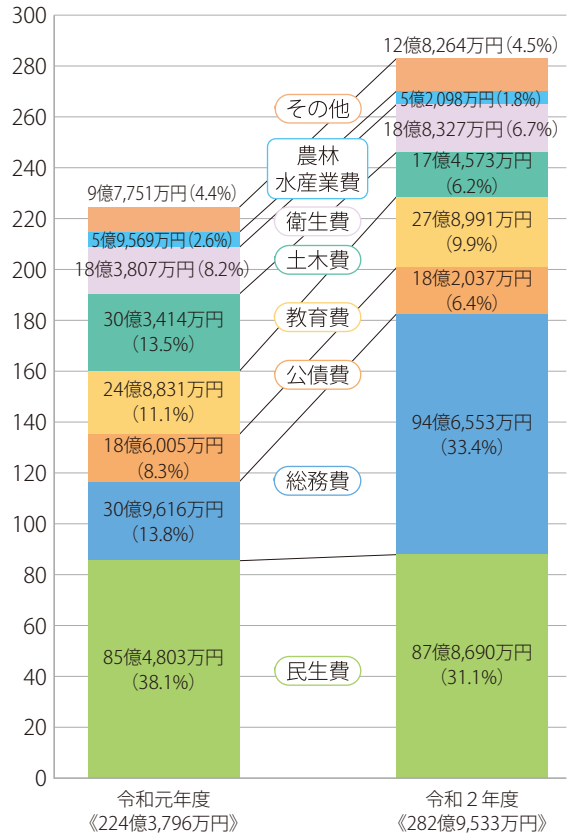
(単位:億円)



目的別経費

※()内は構成比

(単位:億円)



その他の内訳(令和2年度のみ)

- 維持補修費 1億2,143万円
- 積立金 13億3,362万円
- 投資・出資金 3,230万円
- 災害復旧費 4,123万円



その他の内訳(令和2年度のみ)

- 議会費 2億776万円
- 労働費 29万円
- 商工費 4億2,322万円
- 消防費 6億2,318万円
- 災害復旧費 2,819万円



性質別経費の主な内容

- 人件費** 職員・特別職給与、議員などの報酬
- 扶助費** 生活保護費、児童手当、医療費
- 物件費** 委託料、光熱水費、備品購入費
- 補助費等** 団体補助金・負担金
- 普通建設事業費** 道路・橋など新設増改築

目的別経費の主な内容

- 総務費** 課税徴収、選挙など総括的事務
- 民生費** 福祉全般の事務・事業
- 衛生費** 感染予防、母子保健やごみ処理
- 土木費** 道路、公園、河川などの維持管理
- 教育費** 学校の運営、文化スポーツ事業
- 公債費** 借入金の返済



一般会計決算を家計簿に置き換えてみました (決算額を4,000分の1に縮小しています)

支出		前年度比
食費 (人件費)	90万円	(+ 9万円)
医療費・養育費 (扶助費)	136万円	(+ 6万円)
ローン返済 (公債費)	46万円	(▲ 1万円)
家の増改築など (投資的経費) ※令和元年度に大型建設事業が終了したため大幅減	49万円	(▲44万円)
家や車の補修 (維持補修費)	3万円	(± 0万円)
子どもへの仕送り (繰出金)	62万円	(± 0万円)
保険料など (補助費等のうち一部事務組合負担金)	28万円	(± 0万円)
光熱水費・通信費・雑費など (物件費)	83万円	(+ 7万円)
区費やサークル・会合への会費など (補助費等) ※特別定額給付金事業などにより大幅増	176万円	(+156万円)
貯金 (積立金)	33万円	(+13万円)
その他支出 (投資及び出資金)	1万円	(± 0万円)
合計	707万円	(+146万円)

収入		前年度比
給料 (市税)	165万円	(▲ 3万円)
給料 (諸手当) (地方交付税や地方譲与税など各種交付金)	132万円	(+ 6万円)
実家からの援助 (国・県補助金) ※特別定額給付金事業などにより大幅増	313万円	(+170万円)
パート・家賃収入 (分担金・負担金・手数料・使用料)	12万円	(▲ 4万円)
貯金の取崩 (繰入金)	13万円	(▲11万円)
銀行からの借入 (市債)	43万円	(▲19万円)
雑収入 (財産収入・諸収入・寄附金)	32万円	(+10万円)
前年度からの繰越 (繰越金)	6万円	(± 0万円)
合計	716万円	(+149万円)
※貯金残高	98万円	(+25万円)
※ローン残高	462万円	(± 0万円)

》 3. 令和2年度の主な事業

- 消防団第4分団格納庫建設事業 5,484万円
安全・安心のまちづくりのために消防団機能を充実強化
- GIGAスクール構想事業 3億7,821万円
児童生徒一人一台のタブレットPCと校内通信ネットワークを整備
- まごころパックお届け事業 432万円
感染症の影響による生活困難者への支援で、自立支援協議会、農家、社会福祉協議会、市が連携し、食材セットを提供
- 地域商品券発行事業 3億6,282万円
感染症の影響を受けた市民や市内事業者への支援として、全世帯へ商品券を配布・プレミアム率20%増の商品券を発行
- 就学援助費受給世帯への臨時特別給付金事業 917万円
感染症の影響による経済的負担を軽減する為に給付金を支給



▲GIGAスクール構想事業



▲まごころパックお届け事業